

現代中国の桜と花見スポットに関する調査研究

A Research on Sakura and Flower Viewing Spots of Sakura in Modern China

謝 茉哈* 鈴木 誠** 服部 勉**

Mohan XIE Makoto SUZUKI Tsutomu HATTORI

Abstract: In late years, flower viewing of Sakura presents the phenomenon of the boom. However, there is few document about the flower viewing of Sakura in China. Therefore, this study is intended to grasp circumstances of "the flower viewing" in modern China. Though the survey of internet, news and document, it could be said that in 1972 the Sakura had been often given to China by various interchange as the friendship, and in 1980's and 90's the Sakura was planted as a symbol of interchange between China and Japan. The flower viewing spot of the Sakura has grown to 56 locations by now days. Though the field work, it could be said that plants form of the Sakura has 4 patterns, there are forests, forest along the line of mall, groups, and Row of trees. Each place has its own characteristic that is different from the spots in Japan, and is already gotten high evaluation in China. The Chinese enjoy the Sakura with walking and without drinking or eating. Sakura not only plays a role as the cultural exchange, but also become the new purpose object of recreation and the education of culture between the young people in China.

Keywords: *Sakura, flower viewing, flower viewing spot, China, cherry blossom tree*

キーワード: 桜, 花見, 花見スポット, 中国, サクラ

1. はじめに

(1) 研究背景と目的

古来、中国では、梅、蘭、牡丹、菊、蓮などの花の観賞が（中国では賞花と呼ぶ）が盛んに行われ、花は美と幸福の象徴と考えられ、花と花の観賞を表現する文学や絵画作品は多数存在している¹⁾。

従来、桜は主に食用・薬用として利用されてきたが、唐の詩人・白居易は「桜桃花下嘆白髪」²⁾「移山桜桃」²⁾など、桜を賛美した漢詩を残し、20世紀初期の代表作家・老舍の『桜海集』³⁾は青島市の桜と海をヒントに命名され小説集といわれるなど、桜を観賞対象とした文学作品も散見される。

19世紀後半以降、列強各国の侵略戦争に伴い中国の門戸は世界に開かれた。日本は中国支配の進展に伴い中国各地に桜を植栽し、特に青島では政治的・文化的色彩の強い桜が、駐在日本人の花見の影響を受け、中国人の間でも観賞が人気となった⁴⁾。1945年以後の空白期を経て、1972年の日中国交正常化のイベントの一つとして親善桜が北京市・玉淵潭公園などに贈られたことを契機に再び中国に広まり、近年では中国全域、特に東南部に桜が多数植栽され、桜の名所と呼ぶに相応しい場所（スポット）が増加し、桜を対象とした花見（中国では賞桜、以下花見と明記）がブームともいえる現象を呈している。

現代中国の桜については、北京市・玉淵潭公園の桜（カンザン）の観賞時期やサトザクラの観賞と配植の評価を行った研究⁵⁾、各品種に対する観賞の考察⁶⁾など、部分的な言及に留まる研究報告は見られるが、花見スポットの全体像や現代中国における花見の実態について報告した研究は見られない。

本研究では現代中国（1949年以後）の桜と花見スポットに関して、中国全域に現存する花見スポットを整理・概観し、その中から選出した代表的な花見スポットの事例調査を通じ、現代中国における「花見」の事情を把握することを目的とした。

2. 研究対象と方法

(1) 研究対象

花見スポットの選定基準に関しては、日本さくら名所100選の選定基準⁸⁾を参考にした。

その内容は、さくらの名所としての知名度が高い、比較的に健全な成木である、利用者（花見客）が多い、保護管理体制が整っている、歴史（由緒）がある、さくらが周辺環境と調和し、自然景観の向上が見られる、成木の植栽本数が多い、単木の名木は対象外とする、一都道府県、最低一が所を選定する、の9項目である。

しかし、現代中国の花見は1970年代からの約40年間と歴史が浅く、上記の「歴史（由緒）がある」という基準には合致できないと考えられる。また、中国における緑化空間に対する管理体制は未だ十分とはいいがたく、「保護管理体制が整っている」の項目も除外した。さらに、中国大手情報検索サイト「baidu」で「中国桜花 名木」をキーワードとして検索した結果、一致する内容がないため、中国では名木と言われる桜は無いと判断し、「単木の名木は対象外とする」の項目は削除した。また「〇〇省 桜花」（省は都道府県に相当）のキーワードで検索した結果、チベットなど桜の植栽がない省もあるため、「一都道府県、最低一が所を選定する。」も除外した。

尚、中国では2000年以後の桜の植栽が多いことから、「比較的に健全な成木である」「比較的に成長の状態がよい若木や成木である。」に読み替え、以下の5項目を中国の花見スポットの選定基準とした。

花見スポットとして一定の知名度がある。

比較的に成長の状態がよい若木や成木である。

一定の植栽本数がある。

利用者（花見客）が多い。

桜が周辺環境と調和し、自然景観の向上が見られる。

*東京農業大学大学院農学研究科造園学専攻

**東京農業大学地域環境科学部造園科学科

(2) 情報検索サイト調査と管理者に対するヒアリング調査

中国の花見スポットの情報を収集するため、情報検索サイト「baidu」及び中国国家数字図書館定期刊行物検索において「桜花」「賞桜」をキーワードとして検索した結果、2000年～2013年の新聞ニュースと電子報、地方の緑化園林局ホームページ、桜が植栽された公園緑地の公式ホームページが該当した。

以上の情報結果の中から、前述の5項目の選定基準に適合する花見スポットを抽出した。尚、情報検索サイトで収集できない各花見スポットの詳細情報は、中国各地方の緑化園林局及び公園管理所の管理者に対面式や電話によるヒアリングを実施した。

(3) 現地調査による代表的な花見スポットの事例分析

代表的な花見スポットの抽出は、前述の5項目の中国の花見スポット選定基準に加え、日本さくらの名所選定基準⁸⁾の「比較的健全な成木である」、「保護管理体制が整っている」の2項目を加味した。

1) 予備調査

現地での本調査の有効性を確保し、本調査の対象地を決定するため予備調査を実施した。

調査期間は、桜の開花時期前である2014年1月18日～1月28日とした。

予備調査対象地は、情報検索サイト調査と管理者に対するヒアリング調査で得られた桜の植栽地分類(表-1)である、公園緑地、観光地、大学キャンパス、植物園、寺院の中から最低1ヶ所を選定し、さらに2013年度中国国内大手ソーシャルネットワーキング「weibo」の花見スポットに関する書き込み回数による知名度を考慮し選定した。

また予備調査において、本調査の実行性を考慮し、調査関係者の協力の有無や調査所要時間なども検討して、本調査対象地である代表的な花見スポットを決定した。

2) 本調査

調査期間は花見の時期である2014年3月28日～4月6日の10日間とし、中国の代表的な花見スポットと考えられる6ヶ所とした。調査内容は、花見スポットにおいて、記録調査(写真、VTR撮影を含む)を基本として、桜の配植と建造物、地形などの景観構成、借景などの景観特性、利用者の行動特性、桜祭りなどのイベント状況、管理者など関係者へのヒアリング、花見スポットに対する利用者への対面式アンケートを実施した。

3. 中国における桜の花見スポットの現況

情報検索サイトでの調査を通じ、2000年～2013年の新聞ニュースと電子報85件、地方の緑化園林局ホームページと桜の植栽された公園緑地公式ホームページの記事25件、さらに管理者の問い合わせ8通から、56ヶ所の花見スポットを確認出来た(表-1)。

(1) 分布と数

中国の花見スポットの分布をみると、江蘇省11ヶ所、上海市11ヶ所、広東省5ヶ所を中心に、主に中国の東部と南部に集中している。これらの地域は全般的に国際的で経済活動が活発な先進都市が多いことから、桜を媒介とした日中交流が頻繁に行われている可能性が示唆された。

(2) 植栽地の分類

花見スポットを含む場所の特徴は、表-1のように大きく5つに分類でき、公園緑地25ヶ所、次いで観光地20ヶ所と多く、他に大学キャンパス4ヶ所、植物園4ヶ所、寺院境内3ヶ所である。その内、「〇〇桜花園」など「桜」が名称に入る場所は18ヶ所と全体の1/3を占めていた。

(3) 植栽年と植栽の経緯

1980年～90年代には日中交流による桜の寄贈がピークを迎えた。さらに2000年以後、日中交流の象徴として桜の植栽が活用さ

れたのに加え、中国における都市緑化にも利用され、桜の植栽は中国全土に展開した(表-1)。

(4) 敷地面積と本数

花見スポットの敷地面積は1haから500ha、本数も20本から30,000本までと幅がある。

しかし、玉淵潭公園(No.5)は敷地面積20haに対し、1,800本であるが、一部の場所に集中して植栽されており、また上方山日本花菖蒲桜友誼(No.19)は敷地面積3.3haと比較的小規模ではあるが、2,000本と、桜の植栽密度が高い花見スポットがあることなども確認でき、敷地面積と本数との関係性は見出せなかった(表-1)。

(5) 桜の品種と地域特性

北部の遼寧省から東南部の浙江省までは、ヤマザクラ、ソメイヨシノ、サトザクラ系の桜が多いのに対し、広東省や雲南省など温暖な地域では、カンヒザクラの原産地でもあるため、カンヒザクラが多く植栽されるなど、地域特性が見られた(表-1)。

4. 代表的な花見スポットの事例分析

(1) 本調査対象地選定の経緯と概略

表-1に示した花見スポットの知名度を「weibo」の書き込み回数で調査した結果、50～200回前後が大半を占めていた。

しかし、上海市世紀大道桜桃園(No.26)、上海市青海路(No.25)、上海市中山公園(No.24)は1,000回以上、上海市顧村公園(No.28)、上海植物園(No.22)、南京市玄武湖(No.11)、南京市鶏鳴寺(No.12)は2,000回以上、無錫市元頭渚(No.18)、武漢市東湖磨山(No.34)は3,000回以上、武漢大学(No.35)は5,000回以上に昇った。

以上10ヶ所は極めて知名度が高いことが伺え、また調査時の交通の利便性を勘案し、この10ヶ所で予備調査を実施した。

予備調査の結果から無錫市元頭渚(No.18)、上海市同済大学(No.27)、北京市玉淵潭公園(No.5)、西安市青竜寺(No.10)、上海植物園(No.22)、上海市世紀大道桜桃園(No.26)の6ヶ所を中国における代表的な花見スポットの本調査対象地として事例分析を行った。

尚、上海市顧村公園(No.28)、上海市中山公園(No.24)、南京市玄武湖(No.11)、南京市鶏鳴寺(No.12)の4ヶ所は、中国の代表的な花見スポット選定基準の「比較的健全な成木である」に該当せず、上海市青海路(No.25)は桜の根本にゴミの投棄が見られたこと、武漢市東湖磨山(No.34)の桜観賞エリアは園路の舗装状況が悪く、水環境も悪化しており、「保護管理体制が整っている」に該当しないため、この2ヶ所も本調査対象地から外した。

また、武漢大学(No.35)は、現地の方の桜に対する抵抗感(対日感情)が懸念され、アンケートとヒアリング調査を実行するには困難が伴うため、以上全7ヶ所を本調査対象地から除外した。

また、予備調査と同様に「weibo」への書き込み回数が高く、更に写真の検証から桜が「比較的健全な成木である」、「保護管理体制が整っている」に合致すると著者が判断し、植栽地分類から最低1ヶ所選ぶことから、大学キャンパスとして武漢大学(No.35)の代わりに上海市同済大学(No.27)、寺院境内として南京市鶏鳴寺(No.12)の代わりに西安市青竜寺(No.10)を本調査対象地に加えた。

さらに研究背景で述べたように、「1945年以後の空白期を経て、桜は1972年の日中国交正常化イベントの一つとして親善桜が北京市・玉淵潭公園などに贈られたことを契機に再び中国に広まった」ことを考慮し、北京市玉淵潭公園(No.5)も本調査対象地に追加した。

表-2は、本調査実施に影響を与える日時や気象などの調査日の状況、表-3は本調査対象地である6ヶ所の詳細情報を示したものである。

表-1 中国の花見スポット一覧

(文章、図表中に示したNo.は本表のNo.と対応する)

NO.	名称	所在地	植栽の経緯	植栽地 分類	植栽年(補植年)	敷地面積 (ha)	本数 (本)	主要品種	開花時期
1	203 景区新松花園	遼寧省大連市	都市郊外緑化	観光地	2009	50.0	3,000	ヤマザクラ, ソメイヨシノ等	3月下旬~4月上旬
2	竜王塘桜花園	遼寧省大連市	日中交流	観光地	1926	0.5	500	ヤマザクラ等	3月下旬~4月上旬
3	太陽溝	遼寧省大連市	都市緑化	公園緑地	1974	0.1	150	ヤマザクラ, ソメイヨシノ	3月下旬~4月上旬
4	瀋陽市植物園(鄧易万博園)桜花園	遼寧省沈陽市	植物園	植物園	1998	0.9	1,000	オオヤマザクラ, ヤマザクラ等	3月下旬~4月中旬
5	玉淵潭公園	北京市	日中交流	公園緑地	1973 (1980, 1992, 2001, 2002)	20.0	1,800	オオヤマザクラ, ヤマザクラ, ソメイヨシノ, カンザン, フゲンゾウ等	3月下旬~4月中旬
6	朝鮮公園中日友好桜花園	北京市	日中交流	公園緑地	2002	10.0	500	オオヤマザクラ, ソメイヨシノ等	3月下旬~4月中旬
7	河北科技大学	河北省石家庄市	キャンパス緑化	大学キャンパス	2011	24.0	1,200	ソメイヨシノ, ヒガンザクラ	3月下旬~4月上旬
8	中山公園	山東省青島市	戦争, 日中交流	公園緑地	1900年代(1980年代)	6.6	200	ソメイヨシノ等	3月下旬~4月上旬
9	八大関(居庸关路)	山東省青島市	日中交流	公園緑地	1990年代	7.0	300	ソメイヨシノ	3月下旬~4月上旬
10	陝西西安青竜寺	陝西省西安市	日中交流	寺院	1985	0.8	120	カンザン, フゲンゾウ, ソメイヨシノ	3月下旬~4月中旬
11	玄武湖公園松洲	江蘇省南京市	日中交流	公園緑地	1940年代(1980年代, 2000年代)	6.6	800	カンザン, ソメイヨシノ等	3月下旬~4月上旬
12	鶏鳴寺桜花大道	江蘇省南京市	都市緑化	寺院	1980年代(2000年代)	0.4	207	ソメイヨシノ, サトザクラ系	3月下旬~4月上旬
13	南京林業大学	江蘇省南京市	桜の研究, キャンパス緑化	大学キャンパス	1950年代	0.4	400	ソメイヨシノ	3月下旬~4月上旬
14	明孝陵江蘇留岡友好桜園	江蘇省南京市	日中交流	観光地	1996	1.3	3,000	ヤマザクラ, ソメイヨシノ, オオシマザクラ, カンザン, フゲンゾウ, ショウゲツ, シダレザクラ	3月下旬~4月中旬
15	春秋衛城	江蘇省常州市	都市緑化	観光地	2012	1.2	1,000	ソメイヨシノ, ヒガンザクラ	3月下旬~4月上旬
16	红梅公園	江蘇省常州市	日中交流	公園緑地	2001	34.6	2,300	ソメイヨシノ, カンザン等	3月下旬~4月中旬
17	長虹西路	江蘇省常州市	都市緑化	公園緑地	2013	不明	3,000	ソメイヨシノ, サトザクラ系	3月下旬~4月中旬
18	元頂庵	江蘇省无锡市	個人邸, 日中交流	観光地	1930年代(1988, 1988, 1989, 2009)	500.0	30,000	ソメイヨシノ, ヤマザクラ, カンザン, フゲンゾウ, ギョイコウ, ショウゲツ, イチヨウ等	3月下旬~4月中旬
19	上方山日本花菖蒲桜友誼園	江蘇省蘇州市	日中交流	公園緑地	1993	3.3	2,000	ヤマザクラ	3月下旬~4月上旬
20	穹窿山中日桜花友誼林	江蘇省蘇州市	日中交流	観光地	1998 (2000,2003)	2.7	1,000	サトザクラ系	4月上旬~4月下旬
21	光福鎮觀音寺	江蘇省蘇州市	日中交流	寺院	1999	不明	不明	不明	不明
22	上海植物園	上海市	植物園	植物園	1973 (1981)	1.0	138	ソメイヨシノ, カンザン, シダレザクラ, カンザクラ等	3月下旬~4月中旬
23	鲁迅公園	上海市	日中交流	公園緑地	1990年代	28.6	1,000	ソメイヨシノ等	3月下旬~4月上旬
24	中山公園	上海市	不明	公園緑地	2000年代	0.1	100	ソメイヨシノ	3月下旬~4月上旬
25	青馬路	上海市	都市緑化(並木)	公園緑地	2000年代	0.2	21	ソメイヨシノ	3月下旬~4月上旬
26	世紀大道桜桃園	上海市	都市緑化	公園緑地	2000	0.3	50	ソメイヨシノ	3月下旬~4月上旬
27	同濟大学	上海市	日中交流	大学キャンパス	1997	0.5	100	ソメイヨシノ	3月下旬~4月上旬
28	顧村公園	上海市	都市郊外緑化	公園緑地	2010	53.0	20,000	ソメイヨシノ, カンザン, イチヨウ, フゲンゾウ等	3月下旬~4月中旬
29	高橋桜花園	上海市	都市緑化	公園緑地	2000年代	2.0	2,498	ヤマザクラ系	3月下旬~4月上旬
30	閔行体育公園	上海市	都市緑化	公園緑地	2005	3.6	530	ヒガンザクラ	3月下旬~4月上旬
31	松江桜花林	上海市	都市緑化	観光地	2013	10.0	6,000	ヤマザクラ, ソメイヨシノ, カンザン, フゲンゾウ等	3月下旬~4月中旬
32	世紀公園	上海市	都市緑化	公園緑地	2013	0.1	1,000	不明	不明
33	桐城錦屏山観光農業園	安徽省合肥市	農業観光	観光地	2012	130.0	2,000	不明	不明
34	東湖鶴山桜園	湖北省武漢市	日中交流	観光地	1989 (1997)	10.0	5,000	ソメイヨシノ, シダレザクラ等	3月下旬~4月上旬
35	武漢大学校園	湖北省武漢市	戦争, キャンパス緑化	大学キャンパス	1972	25.0	1,000	ヤマザクラ, ソメイヨシノ	3月下旬~4月上旬
36	九宮山桜花溝	湖北省咸寧市	不明	観光地	1985	2.7	500	ソメイヨシノ, ヤマザクラ	3月下旬~4月上旬
37	長江大橋沿岸	湖北省武漢市	日中交流	公園緑地	1980年代	0.5	200	ソメイヨシノ	3月下旬~4月中旬
38	宝島公園中日友好記念桜園	湖北省武漢市	日中交流	公園緑地	1999	0.2	25	8種, カンザン, フゲンゾウ, ウコン等	4月
39	南山植物園バコ科園	重慶市	植物園	植物園	2000	1.0	100	カンヒザクラ, シダレザクラ, サトザクラ系	3月下旬~4月中旬
40	鳳凰湖	四川省成都市	都市郊外緑化	公園緑地	2009	2.7	20,000	カンザン, フゲンゾウ, ヤマザクラ, オオヤマザクラ	不明
41	太子湾公園	浙江省杭州市	都市緑化	公園緑地	1988	10.0	1,200	ソメイヨシノ, ヤマザクラ	3月下旬~4月上旬
42	柳浪聞鶯	浙江省杭州市	日中交流	公園緑地	不明	0.2	170	ソメイヨシノ	3月下旬~4月上旬
43	宛委山桜花林	浙江省紹興市	日中交流	観光地	1998	10.0	4,739	ヤマザクラ, ソメイヨシノ, カンザン, フゲンゾウ, シダレザクラ等	3月下旬~4月中旬
44	黃馬鳳凰溝	江西省南昌市	都市郊外緑化	観光地	2007	40.0	3,500	ソメイヨシノ, サトザクラ系, フユザクラ, シダレザクラ, 雲南桜 (Prunus cerasoides)	3月中旬~4月上旬
45	梅嶺桜花谷	江西省南昌市	都市郊外緑化	観光地	2011	167.0	34,000	ヤマザクラ, カンヒザクラ, カンザン等	3月中旬~4月上旬
46	湖南省森林植物園	湖南省長沙市	植物園, 日中交流	植物園	1985	3.7	3,000	ソメイヨシノ, サトザクラ系	3月中旬~4月上旬
47	仙遊県杜鵑郷	福建省莆田市	農業観光, 桜の苗圃	観光地	2006	80.0	40,000	アリスンヤマザクラ, カンヒザクラ	3月中旬~4月上旬
48	汀溪鎮造水村密瀾山莊	福建省廈門市	都市郊外緑化	観光地	2006	33.3	2,000	ヤマザクラ, カンヒザクラ, アリスンヤマザクラ	2月~3月中旬
49	昆明円通山	雲南省昆明市	都市郊外緑化	観光地	1920年代	1.8	680	雲南桜 (Prunus cerasoides), ソメイヨシノ	2月~3月中旬
50	无量山桜花谷	雲南省大理白族自治州	農業	観光地	2000	43.0	不明	フユザクラ	10月~12月
51	石門森林公園	広西チワン族自治区南寧市	都市郊外緑化	観光地	1999	3.3	1,500	カンヒザクラ, ヤマザクラ	2月~3月中旬
52	花城広場	広東省広州市	都市緑化	公園緑地	2010	0.7	300	カンヒザクラ	2月
53	白雲湖	広東省広州市	都市郊外緑化	観光地	2010	6.0	800	カンヒザクラ	2月
54	梅嶺鎮興隆村	広東省広州市	桜の苗圃	観光地	2009	10.0	9,000	カンヒザクラ	2月
55	夢崗鎮梁公公園	広東省広州市	都市緑化	公園緑地	2000年代	0.4	100	カンヒザクラ	2月
56	百万葵園	広東省広州市	都市郊外緑化	公園緑地	2000年代	4.0	6,000	不明	3月下旬~4月中旬

表-2 本調査対象地6ヶ所と現地調査日の状況

No.	名称	所在都市	桜の植栽地分類	調査日	時間帯	気象情報			行事
						天気	温度	湿度	
18	元頭渚	無錫市	観光地	3月31日(月)	11:00～16:00	曇り	快適	快適	桜祭り、グルメ祭り
27	同济大学	上海市	大学キャンパス	3月30日(日)	14:30～17:30	晴れ	快適	快適	桜祭り
5	玉淵潭公園	北京市	公園緑地	4月4日(金)	11:00～15:00	晴れ	暖かい	乾燥	桜祭り、オークション、会屋台
10	青竜寺	西安市	寺院境内	4月2日(水)	11:00～15:00	曇り	快適	快適	桜祭り、屋台
22	上海植物園	上海市	植物園	3月29日(土)	14:00～17:00	雨	快適	湿気が強い	花展(桜祭りが含まれる)
26	世紀大道桜桃園	上海市	公園緑地	3月29日(土)	10:00～13:00	曇り時々雨	快適	湿気が強い	なし

(2) 代表的な花見スポット6ヶ所の空間構成と景観特性

1) 桜の配植形式

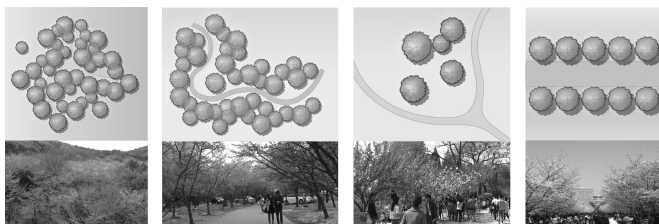
桜の配植形式は、群植(林):元頭渚(No.18)の中日桜花友誼林、玉淵潭公園(No.5)の池辺にある桜の林、青竜寺(No.10)雲峰閣周りのカンザンの林、上海植物園(No.22)の桜の林、世紀大道桜桃園(No.26)、動線に沿った群植:玉淵潭公園(No.5)の回遊式園路の両側、元頭渚(No.18)の桜花谷、数本のグループ:元頭渚(No.18)の桜花谷と長春橋付近、玉淵潭公園(No.5)花見エリアの入口、列植:元頭渚(No.18)桜花谷の入口と長春橋の両側、同济大学(No.27)、青竜寺(No.10)の空海記念碑付近、上海植物園(No.22)園路両側、の主に4パターンである(図-1)。

群植は、個々の樹形や品種には余りこだわりはみられず、桜を多量に利用し、広大な空間を構成する例がよく見られ、主要品種を明確にした桜の集団美を表現している。また、曲線の動線となる園路に沿った群植は、桜による景観変化を強調し、空間に奥行感を演出している。数本のグループは、桜がその空間の中心を構成している。列植では、桜を入口に植栽するケースが多く、整形的で華やかな視覚効果をもたらしている。

2) 桜の配植と水系、地形、建造物との関係

川などの流れ、池、湖のある場所では桜が水辺に沿い、列植または群植される。例を挙げると、上海植物園(No.22)の池周りに桜が列植または群植され、元頭渚(No.18)の長春橋付近は太湖に隣接し、列植された桜が湖の景色と融合している。丘や山の斜面を利用した桜の林も、青竜寺(No.10)、玉淵潭公園(No.5)、元頭渚(No.18)で見られる。桜の配植と建造物との空間配置を見ると、植栽が少なく、建造物主体の伝統的な中国庭園と異なり、大量の桜を植栽し、建造物と同様に主役とした空間構成がみられる。

元頭渚(No.18)では、桜が列植された長春橋が見所となり、さらに四阿的な茶室周りには数本の桜がグループ状に植栽されることで、お茶を飲みながら花見ができる。青竜寺(No.10)では、丘の中央の雲峰閣と桜の林の組み合わせが寺院境内の空間に華やかさをもたらしている(表-4)。



群植 写真は元頭渚(No.18)の中日桜花友誼林 園路などの動線に沿う群植、写真は元頭渚(No.18)桜花谷 数本のグループ、写真は玉淵潭公園(No.5)花見エリアの入口 列植、写真は同济大学(No.27)

図-1 桜の4パターンの配植形式

3) 各対象地の景観特性

世紀大道桜桃園(No.26)では流れを軸に、中心から外側まで地被植物と共に中高木の桜が植栽され、中央流れ付近から仰ぎ観ると高層ビルが借景となっている。上海植物園(No.22)では水辺の四阿から対岸の桜の並木を眺めることができる。元頭渚(No.18)の中日桜花友誼林は敷地が広大なため、「賞桜楼」という楼阁状の建物に登ることで、桜の海を俯瞰する様な構成となる。

元頭渚(No.18)の長春橋付近の四阿は中国江南様式であるが、桜との取り合わせも良く、中国ならではの花見体験が可能である。他に、玉淵潭公園(No.5)ではテレビタワーが借景となっており人気が高い。同济大学(No.27)では桜はキャンパス入口前の大通りの並木になっている。青竜寺(No.10)では、色や花のつき方が異なるサトザクラ系の品種が主要樹種であり、一般的なソメイヨシノやヤマザクラで造景された花見スポットと違った景観体験が得られる。このように桜の名所の景観構成は多様で、個性的なものが現在人気となっている(表-4)。

(3) 代表的な花見スポット6ヶ所の利用

1) 利用状況

花見の行動内容を観察・録画し、分析した結果、散策しながら花見をする利用者が多数であった。散策しながらの写真撮影はもちろん、広々とした芝生のある場所では、日本で一般的な飲食を伴う宴会的利用は認められず、シートで寛ぐ姿も見られ、散策せず花見する利用者も見られた。

また、録画を確認したところ、調査日が雨の日の上海植物園(No.22)では休憩場でコミュニケーションしながら花見する利用者が多く見られた。花の色や形態に特徴のあるフゲンゾウやギョイコウ、咲き具合が特に良い桜、樹齢の古い桜、桜並木の前は特に人気が高い。また、桜の見える四阿などの休憩場所は散策途中に利用者が集まるコミュニケーションの場としても有効に活用されている(表-5)。3人以上の花見グループ、特に子供連れの家族、修学旅行生、老人のグループが見られた。一方、録画を確認し、玉淵潭公園(No.5)や元頭渚(No.18)ではカイドウなどの花の前で桜と言いながら写真撮影する利用者や他人に桜の木かどうかを確認する利用者が20人以上見られるなど、他の花を桜に間違えることもあり、桜という植物に対する認識が未だ十分とは言えない状況も伺えた。

2) 桜祭り

2000年に造られた世紀大道桜桃園以外の5ヶ所では年間行事に桜祭りを入れている。これは、近年の「桜ブーム」に応じるものと考えられる。桜の写真コンテストや社交イベントが多く、青竜寺(No.10)では絵画写真展、日中交流の桜が植栽された元頭渚(No.18)では日中文化展が毎年開催されている。また、日本の夜桜の影響を受けてか、元頭渚(No.18)では2014年から、玉淵潭公園(No.5)では2013年から夜桜の観賞も可能となっている(表-5)。

(4) 利用者アンケート

各対象地で利用評価と景観体験に関する対面式アンケート(5項目)を実施し、289件の有効回答を得た(回答者の属性は表-6の通り)。回答者の属性として、20代の回答者が160人(55%)と最も多いため、今回のアンケート調査結果には若い世代の意見が大きく反映していると考えられる。以下、質問ごとに回答結果を分析し、各表の太い囲み線は最も多い回答を示している。

1) 花見スポットの選定理由

147人(51%)は「この桜が有名」、90人(31%)は「自宅から近い」が多く、「アクセスが便利」は65人(22%)と、花見スポットの選定理由は、知名度とアクセスの利便性を重視している。花見スポットの情報収集についてはインターネットの普及が要因として考えられ、それに伴い花見スポットの知名度も向上していると

表-3 代表的な花見スポットの基本情報

No.	名称	所在都市	造園年(年)	桜の植栽年(補栽年)	桜の植栽面積(敷地面積) ha	本数(本)	主要品種	枝張り(m)	樹高(m)	管理者	植栽の経緯	観賞対象となる花
18	元頭渚	無錫市	1918	1930 (1988 1989 1990 2009)	6.5 (500)	約 30,000	85 種、ソメイヨシノ、カンザン、フゲンゾウ、イチヨウ等	3-4	4-5	元頭渚管理所	私有庭園、日中交流	桜、花菖蒲、菜の花
27	同济大学	上海市	1946	1997	0.5 (53.36)	約 100	ソメイヨシノ	4	4	同济大学	日系企業と大学の提携と交流	桜
5	玉淵潭公園	北京市	1960	1973 (1980 1990 1992 2002)	20 (100)	約 1,800	オオヤマザクラ、ソメイヨシノ、ヤマザクラ、オオシマザクラ、カンザン、フゲンゾウ等	5	4-5	玉淵潭公園管理所	日中交流	桜、桃、ハス
10	青竜寺	西安市	1973	1985	1 (2)	約 100	カンザン、フゲンゾウ、イチヨウ等	5	4-5	青竜寺遺跡保管所	日中交流	桜
22	上海植物園	上海市	1974	1973 (1981)	1 (81.86)	138	ソメイヨシノ、シダレザクラ、カンザン、カンザクラ	3-4	4-5	上海植物園	日中交流	桜、桃、椿、蘭、梅、ボタン、ロウバイ、ハス等
26	世紀大道桜桃園	上海市	2000	2000	0.3168 (0.3168)	約 50	ソメイヨシノ	4	4	上海市緑化市容管理局	都市緑化	桜、椿、キンモクセイ

表-4 代表的な花見スポットの空間構成と景観特性

No.	名称		所在都市	空間構成								景観特性				
				水系		地形	構造物	桜の栽植				視線			観賞の特徴	
				川などの流れ	池・湖			数本のグループ	群植(林)	動線に沿う群植	列植	借景	俯瞰	仰視		
18	元頭渚	桜花谷、中日桜花友誼林、長春橋	無錫市	●	●	山の下	賞桜楼、四阿、売店	●	●	●	●	●	●	●	●	植栽面積が広く、常緑樹で桜のピンク色とボリュームを強調する。賞花楼からは敷地全体が見えて、「桜の海」になっている。
27	同济大学		上海市			平坦	オープン休憩場				●				●	キャンパスの門から入ってすぐに桜通りになっている。桜の並木の下にオープン休憩場があり、少し離れた芝生からも花見できる。
5	玉淵潭公園		北京市		●	平坦、丘	四阿、売店	●	●	●		●		●	●	テレビタワの借景が印象的である。また、桜と梅、桃、カイドウなどの花が混植され、2 月から 5 月まで花が絶えない。
10	青竜寺	空海記念碑付近、雲峰閣付近	西安市			平坦	空海記念碑、恵果空海記念堂					●			●	空海記念碑と恵果空海記念堂を結ぶ軸に沿え、一重の桜が対植されている。
22	上海植物園		上海市		●	平坦	四阿、オープン休憩場、橋		●		●					サトザクラがメインのため、花が密集している。群植した桜の下に雲峰閣を中心とした回遊式園路を歩くと、桜のトンネルをくぐるような体験ができる。
26	世紀大道桜桃園		上海市	●		平坦	木造の橋		●			●		●	●	アジア風のデザイン性の高い小公園、植栽は高木、中低木、グランドカバーで高低差が作られている。高層ビルが借景にある。

表-5 代表的な花見スポットの利用状況と桜祭りの内容

No.	所在都市と名称	所在都市	年間行事	利用状況								桜祭り開始年	桜祭りの内容					
				利用者の行動				利用者の滞留場所					写真コンテスト	社交イベント	絵画展	写真展	日中文化交流イベント	夜桜
				写真撮影	楽器演奏	歌を歌う	芝生などで寛ぐ	目立つ色の桜や咲き具合が特に良い桜の前	樹齢の高い桜	花見できる休憩所	桜並木							
18	元頭渚	無錫市	桜祭り、花菖蒲祭り、花火大会、中秋建国遊園会	●	●		●	●	●		●	2003	●	●	●		●	●
27	同济大学	上海市	桜祭り	●			●			●	●	不明	●	●				
5	玉淵潭公園	北京市	桜祭り	●	●	●		●	●			●	1983					●
10	青竜寺	西安市	桜祭り、宗教イベント	●		●		●				不明			●			
22	上海植物園	上海市	迎春山茶展、上海花展（桜祭り含め）、秋季花展、迎新花展、各記念日と祝日のイベント	●				●		●	●	2007	●					
26	世紀大道桜桃園	上海市	なし	●	●					●		なし						

表-6 代表的な花見スポットにおけるアンケート回答者の属性

※表-7～11の各スポットにおける割合の母数は各スポットの有効回答数を参考。

No.	対象地名	有効回答数(回答数)	性別(%)		年齢(%)						
			男性	女性	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
18	無錫市元頭渚	52(52)	21(40%)	31(60%)	5(10%)	16(31%)	12(23%)	7(13%)	6(12%)	4(8%)	2(4%)
27	上海市同济大学	52(52)	24(48%)	27(52%)	13(25%)	32(62%)	2(4%)	3(6%)	0(0%)	2(2%)	0(0%)
5	北京市玉淵潭公園	44(46)	13(30%)	31(70%)	0(0%)	37(84%)	4(9%)	1(2%)	2(5%)	0(0%)	0(0%)
10	西安市青竜寺	49(51)	5(10%)	44(90%)	4(8%)	23(47%)	5(10%)	6(12%)	7(14%)	1(2%)	3(6%)
22	上海市上海植物園	40(42)	19(48%)	21(53%)	1(2%)	21(53%)	8(20%)	2(5%)	3(8%)	4(10%)	1(2%)
26	上海市世紀大道桜桃園	52(52)	23(44%)	29(56%)	3(6%)	31(60%)	10(19%)	4(8%)	2(4%)	1(2%)	1(2%)
	合計	289(295)	106(37%)	183(63%)	26(9%)	160(55%)	41(14%)	23(8%)	20(7%)	12(4%)	7(2%)

考えられる(表-7)。

2) 入場料

今回の調査地 6 ヶ所中、元頭渚 (No.18) 105 元 (約 2,000 円)、玉淵潭公園 (No.5) 10 元 (約 200 円)、上海植物園 (No.22) 15 元 (約 300 円) と入場料は有料だが、79 人 (58%) の利用者がその金額を「適正」と回答した。元頭渚 (No.18) の入場料は 105 元 (約 2,000 円) と高額であるが人気も高い(表-8)。

3) 利用者評価

「よい」と「とてもよい」の合計は 244 人 (84%) であり、「よくない」「余りよくない」という回答は無く、利用者は全般的に花見スポットを高く評価していることが伺える(表-9)。

4) 魅力

「ボリュームがある」は 182 人 (63%) で最も多い回答となり、利用者は桜の花のボリューム感に多くの魅力を感じていると考えられる。また、「周りの環境に馴染んで、景観が良い」が 128 人 (44%) と多いのも特徴である。現在中国の都市環境づくりの傾向は

表-7 代表的な花見スポットの選定理由（合計 n=289）

所在都市と名称	ここの桜が有名(%)	自宅から近い(%)	アクセスが便利(%)	ここの桜が特別にきれい(%)	家族、友人などに誘われた(%)	イベントに参加するため(%)	通り過ぎるのついでに来た(%)	いつもここにきている(%)	その他(%)
無錫市元頭者	36(52%)	12(23%)	1(2%)	14(27%)	8(15%)	6(12%)	9(17%)	13(25%)	0(0%)
上海市同济大学	25(48%)	34(65%)	13(25%)	9(17%)	10(19%)	3(6%)	13(25%)	6(12%)	1(2%)
北京市玉淵潭公園	32(73%)	11(25%)	5(11%)	11(25%)	8(18%)	4(9%)	9(20%)	8(18%)	1(2%)
西安市青竜寺	37(76%)	12(24%)	21(43%)	15(31%)	9(18%)	2(4%)	2(4%)	10(20%)	1(2%)
上海植物園	7(18%)	13(33%)	9(23%)	10(25%)	6(15%)	2(5%)	4(10%)	6(15%)	3(8%)
上海市世紀大道桜桃園	10(19%)	8(15%)	16(31%)	2(4%)	3(6%)	1(2%)	28(54%)	2(4%)	1(2%)
合計	147(51%)	90(31%)	65(22%)	61(21%)	44(15%)	18(6%)	65(22%)	45(16%)	7(2%)

表-8 代表的な花見スポットの入場料（合計 n=289）

所在都市と名称	適正	不適正	入場料なし（年間パスポートなど）	入場料（元）
無錫市元頭者	14(27%)	34(65%)	8(8%)	105
上海市同济大学	0(0%)	0(0%)	52(100%)	無料
北京市玉淵潭公園	31(71%)	8(18%)	5(11%)	10
西安市青竜寺	0(0%)	0(0%)	52(100%)	無料
上海植物園	34(85%)	4(10%)	2(5%)	15
上海市世紀大道桜桃園	0(0%)	0(0%)	52(100%)	無料
合計	79(27%)	46(16%)	171(59%)	

表-9 代表的な花見スポットの利用者評価（合計 n=289）

所在都市と名称	とてもよい(%)	よい(%)	普通(%)	余りよくない(%)	よくない(%)
無錫市元頭者	5(19%)	30(58%)	17(33%)	0(0%)	0(0%)
上海市同济大学	18(35%)	27(52%)	7(13%)	0(0%)	0(0%)
北京市玉淵潭公園	5(11%)	28(64%)	11(25%)	0(0%)	0(0%)
西安市青竜寺	19(39%)	25(51%)	5(10%)	0(0%)	0(0%)
上海植物園	14(35%)	25(63%)	1(2%)	0(0%)	0(0%)
上海市世紀大道桜桃園	18(35%)	30(57%)	4(8%)	0(0%)	0(0%)
合計	79(27%)	165(57%)	45(16%)	0(0%)	0(0%)

表-10 代表的な花見スポットの魅力（合計 n=289）

所在都市と名称	ボリュームがある(%)	花の色と形、樹形などが多様(%)	植栽が面積大(%)	周りの環境に馴染んでいる、景観がよい(%)	イベントが面白い(%)	施設が充実(%)	その他(%)
無錫市元頭者	33(63%)	20(38%)	19(37%)	15(29%)	9(17%)	5(10%)	0(0%)
上海市同济大学	34(65%)	8(15%)	15(28%)	27(52%)	11(21%)	5(10%)	2(4%)
北京市玉淵潭公園	26(59%)	20(45%)	16(36%)	19(43%)	4(9%)	4(9%)	4(9%)
西安市青竜寺	42(86%)	23(47%)	17(35%)	16(33%)	2(4%)	1(2%)	0(0%)
上海植物園	24(60%)	16(40%)	14(35%)	18(45%)	2(5%)	5(13%)	0(0%)
上海市世紀大道桜桃園	23(44%)	21(11%)	10(19%)	33(63%)	1(2%)	1(2%)	1(2%)
合計	182(63%)	108(37%)	91(31%)	128(44%)	29(10%)	21(7%)	7(2%)

表-11 代表的な花見スポットの改善点（合計 n=289）

所在都市と名称	安全対策(%)	施設が不足(%)	休憩スペースなどが少ない(%)	人が多く、混雑している(%)	利用者マナー(%)	ゴミ問題(%)	駐車場が足りない(%)	その他(%)	なし(%)
無錫市元頭者	4(8%)	18(35%)	7(13%)	24(46%)	10(19%)	18(35%)	1(2%)	0(0%)	0(0%)
上海市同济大学	2(4%)	4(8%)	14(27%)	35(67%)	6(12%)	6(12%)	3(6%)	5(10%)	1(2%)
北京市玉淵潭公園	8(18%)	8(18%)	11(25%)	21(48%)	10(23%)	13(30%)	4(9%)	3(7%)	0(0%)
西安市青竜寺	14(14%)	5(10%)	20(41%)	21(43%)	1(2%)	10(20%)	4(8%)	3(6%)	0(0%)
上海植物園	4(10%)	4(10%)	12(30%)	1(2%)	4(10%)	8(20%)	4(10%)	4(10%)	4(10%)
上海市世紀大道桜桃園	12(23%)	9(17%)	21(40%)	5(10%)	2(4%)	6(12%)	17(33%)	4(8%)	1(2%)
合計	44(15%)	48(17%)	85(29%)	107(37%)	33(11%)	61(21%)	33(11%)	19(7%)	6(2%)

都市景観設計の要素の多様化にあり、桜が新しい要素として利用者に好まれ、周りの環境と調和しやすい点にあるのではないかと考察される。また、「イベントが面白い」や「施設が充実」を選択した回答が少ないことから、桜自体の美しさへの関心に比較すると、イベントや施設に対する好感度は低く、その理由は花見イベントの内容が利用者に好まれておらず、施設が不十分であることが原因ではないかと推測される。（表-10）

5) 改善点

「人が多く、混雑している」が 107 人 (37%)と多く、さらに 85 人 (29%)は「休憩スペースなどが少ない」など、現状の不満からは、ゆったりとした桜の観賞が望まれている。また、「ゴミ問題」も 61 人 (21%)と多く挙げられている。最も多く挙げられた「人が多く、混雑している」から、花見期間中、利用者が激増するにもか

かわらず、ゴミの効率的な処理が成されていない事が大きな要因と言える（表-11）。「その他」では、「俗っぽい屋台やショーなどのイベントをなくしてほしい」という桜祭り期間中のイベント内容に対する意見も見られ、「品種が少ない」「ボリュームが足りない」など、桜自体に関する意見もわずかながら見られた。

また、上海植物園（No.22）と上海市世紀大道桜桃園（No.26）の回答では、調査時の天気の影響が見られたと考えられる。急な降雨のため利用者数も少なく、混雑の問題はないものの、周囲に雨宿りできる「スペース」がなかった結果を反映していると考えられる。

5. まとめ

現代中国における観賞用の桜は、1972 年の日中国交正常化を契機に現代中国に拡大し、特に 80 年代から 90 年代には日中交流事業の一環としての寄贈もピークを迎えたことが花見スポットの形成に大きな影響を与えた。2000 年以後は都市緑化用樹木としても位置づけられ、植栽される主要品種も北部から南部にかけて、ヤマザクラ、ソメイヨシノ、サトザクラ、カンヒザクラと中国の気候風土に適応した植栽が実施されている。花見スポットは中国の東南部に集中し、公園緑地や観光地が全体の 8 割を占め、更に、「桜」の文字を名称に入れる場所が 3 割を占めていることから、花見スポットの一般大衆への受容が進展していると考えられる。

桜の配植形式は群植（林）、動線に沿う群植、数本のグループ、列植の 4 パターンが主であり、特に水辺に配植する傾向が強い。また特徴ある品種を取り入れた花見スポットや、伝統的な中国式建築と融合した植栽など、従来の日本とは異なる新たなスタイルも確立されはじめ、高い評価を得ている。

中国の花見客の利用行動の特徴は、散策＝移動しながらの花見が主流であり、「桜祭り」などのイベント内容も多様な展開が見られるものの、関心度は低い。花見スポットに対する評価には、知名度と交通の利便性に加え、中国では一般に見かけることの少ないボリューム感のある桜の花の存在が大きな影響を与えている。

6. 考察

白幡（2000）⁷⁾ は、「群桜」「飲食」「群集」は「花見」の成立 3 条件としているが、今回の調査により中国では「飲食」の習慣が認められず、現代中国における「花見」とは「群桜」と「群集」、つまり桜の開花時期に多数の花見客が一気に集まり、桜の花を観賞するという利用形態に大きな特徴が認められる。

また桜が日中文化交流の役割を果たした時代を経て、高度経済成長期にある現在においては、生活の質や癒しを希求し始めた中国人、特に若年層にとっては、「花見」は中国における新たなレクリエーションや文化教養の目的対象という、日本での花見とは異なる新たな側面に価値を見出し始めていると考えられる。

補注及び参考文献

- 孫伯筠（2006）：花卉鑑賞と花文化：中国農業大学出版社，1
- 朱金城（1988）：白居易集箋校：上海古籍出版社，983-984
- 老舍（1935）：桜海集：南方書屋刊，1
- 江本硯（2014）：戦前期中国青島市におけるクロマツとサクラの植栽：ランドスケープ研究 77(5)，393-398
- 張明慶（2009）：北京市玉淵潭公園カンザンの観賞性及びサトザクラ観賞区桜配植の一考察：首都師範大学学報 30(6),56-58（中国語文献）
- 劉曉莉（2012）：桜類品種の観賞性状の一考察：福建林業科技 39(2)，123-127（中国語文献）
- 白幡洋三郎（2000）：花見と桜-日本的なるもの再考：PHP 新書，13
- 公益財団法人 日本さくらの会：日本桜名所百選 見られる限りみてみたい：講談社，4